

第28回メディア資料研究会のご案内

空襲マップをつくる
－米軍資料の文字データ化と活用－

工藤 洋三 氏

(空襲・戦災を記録する会事務局長 工学博士)

戦時中の日本本土に対する空襲を調べる場合に米軍資料の活用は欠かせないものになっています。近年デジタルアーカイブが充実して、自宅から直接多くの米軍資料が閲覧できるようになりました。また、読み取りソフトや翻訳ソフトの充実は空襲の調査や研究に新しい可能性を提供しています。

空襲・戦災を記録する会では、戦時中にアメリカの機械記録部隊 (MRU: Machine Records Unit) が作成した日本本土空襲の統計資料を文字データ化して活用する取り組みを行っています。地図ソフトと連携して、文字データ化した資料を地図上にプロットし空襲を可視化する取り組みについて紹介します。

▼日 時 2023年7月25日(火)
18:00～19:30

▼会 場 Zoomによるオンライン開催
(各自の端末からオンラインにて参加。無料※)

－ 参加方法 －

当日はzoomより、下記ミーティングIDか招待リンクからご自由にご参加ください

ミーティングID: 939 4279 6440

招待リンク: <https://ritsumei-ac-jp.zoom.us/j/93942796440>

※オンラインサービス接続中に発生する通信費等については、各自のご負担となります。
また、ネットワーク環境によって、映像や音声に不具合が生じる場合がございます。
上記につき予めご了承の上、ご参加いただきますようお願いいたします。